

算数ノートの使い方(中・高学年)

←1マスあけて線を引く。

10/3 ←1日付を書く。

時々、何月何日のノートを振り返りましょう。
といった時に日付が大切になります。
また、家庭学習の復習のためにも、教科書の
ページをいれましょう!

P3 ←教科書のページを書く。

も ポットの水かさをL単位で表そう。

め 0.1より小さいはしたの数の表し方を考えよう。

* 問題から本時の課題をつかみ、めあてを書く。

(場合によっては、問題とめあてが一緒になる場合もある。)

Point: めあての見つけ方

・今までの学習の似ているところと違うところをはっきりさせ、本時の学習で

何がわかればいいのかを明確にしましょう!

見 ←見直しを書く

・答えの見直し(これくらいかなというおよその数でもよい。)

・方法の見直し(こんな考えでやれば解けそうだ。)

自 ←自分のやり方、考え方で調べる。

* 考え方を書いていく。

・図 ・数直線 ・線分図 ・式などを用いる。

友 ←友だちの意見でよい面を書く。

* 自分の考えと比べながら、参考になった考えを書く。

ま ←本時の学習のまとめを書く。

0.1Lより小さいはしたの数の表し方は、0.1Lを10等分して
0.01Lという単位を作り、「0.01Lがいくつ」と考えればよい。

* 新しく出てきた算数的用語(教科書の緑の枠で説明)は、
ノートにまとめて、青で囲む。

キーワード(ことばの定義、算数的用語)


ふ * 振り返りとして、本時に参考になったことなどを書く。

算数ノートの使い方(低学年)

- ←1マスあけて線を引く。
- 10/3 ←日付を書く。
- P3
- も 問題を分かりやすく書く。
キーワードには、線を引く!
- か ←自分の考えを書く。
・絵 ・図 ・式 ・文章 など
- ま ←学習のまとめを書く。

低学年は、横長のノートなので見開きでノートを使うと分かりやすくまとめることができます。

point!




赤で囲む。

* 低学年は、中・高学年から、めあてや見通し、振り返りをカットしたもの。

【全学年共通事項】

間違えたところは、消さずに赤で直しましょう！
児童の実態に応じて、友だちの意見をノートに書くこともOKです！

まとめやキーワードの囲みは、定規を使って、真っ直ぐな線を引くことができるようにしましょう！



【その他の確認事項】

- 筆算も定規を使いましょう。
- 問題文にある数値を使って立式しましょう。
(問題文にない数値は使わない。頭の中で計算したことも 式で表すようにしましょう。)
- 式の付け足しはしません。
(よい例) $3+5=8$ $8\div 2=4$
(悪い例) $3+5=8\div 2=4$